

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和8年6月2日 午後6時30分 開会 午後7時01分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	清田 文雄 玉虫志保実 竹内恵美子 鈴木たまよ 吉川 重雄 二宮加寿子 橋本 秀彦 鈴木 京子 石川 則男 おかみゆき 高橋 英俊 毛利 泰輔 庄子 幸太 亀倉 弘美
4 説明員	町側出席者 なし
5 職務のため 出席した職員	局 長 宮崎 祐輔 書 記 秋本 篤史
6 その他	一般傍聴 1人

■議題

(1) 協議事項

●議案第 41 号 令和 8 年度大磯町一般会計補正予算（第 1 号）の修正動議について

○修正動議に至った経過について、発議者の毛利議員から説明を受けた。

- ・物価高対応高齢者生活支援商品券発行事業の 80,754 千円を削除するもの。
- ・令和 8 年の 1 月臨時会、3 月定例会での補正予算で、国からの補助金として約 2 億 9,000 万円が交付された。町は、これを全額町民に交付せず、その一部、約 8,000 万円を学校給食費の費用に充てて、財源更正をしてその額を財政調整基金に積み立てた。
- ・それをわずか 3 か月後に取り崩して、また商品券を発行するというのは、財政規律の面からも拙速である。また、事業に係る経費も無駄にかかっている。
- ・物価高対応の施策は、基本的に全町民を平等に対象とするべきだが、特定の方を対象とするならば、生活弱者を対象とすべきと考える。
- ・よって、65 歳以上のみを対象とした本事業は削除すべきと考え動議を提出した。

○発議者の希望について

- ・発議者を募ったところ、毛利議員のほか、高橋議員、竹内議員、石川議員が申し出て、発議者は 4 名となった。

※質疑

- ・発議者として連名した議員は、討論可能か。
→（事務局）発議者のうち連名した議員は、討論可能。筆頭の発議者は、修正案の提案者として提案理由を述べる者となり、この議員は討論できない。

○事務局から補正予算（修正案）に係る審議順序等について説明があった。

(2) その他

- ・なし
-